



2025年4月28日

各 位

会 社 名 株式会社ユアテック
代表者名 取締役社長 社長執行役員 小林 郁見
(コード：1934 東証プライム市場)
問合せ先 常務執行役員総務部長 伊藤 英一
(TEL：022-296-2111)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応に関するお知らせ（アップデート）

当社は、本日開催の取締役会において、2024年10月31日に公表しました「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」について、現状の分析・評価を行い、内容をアップデートしましたので、お知らせいたします。

なお、詳細につきましては、添付資料「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」をご覧ください。

以 上

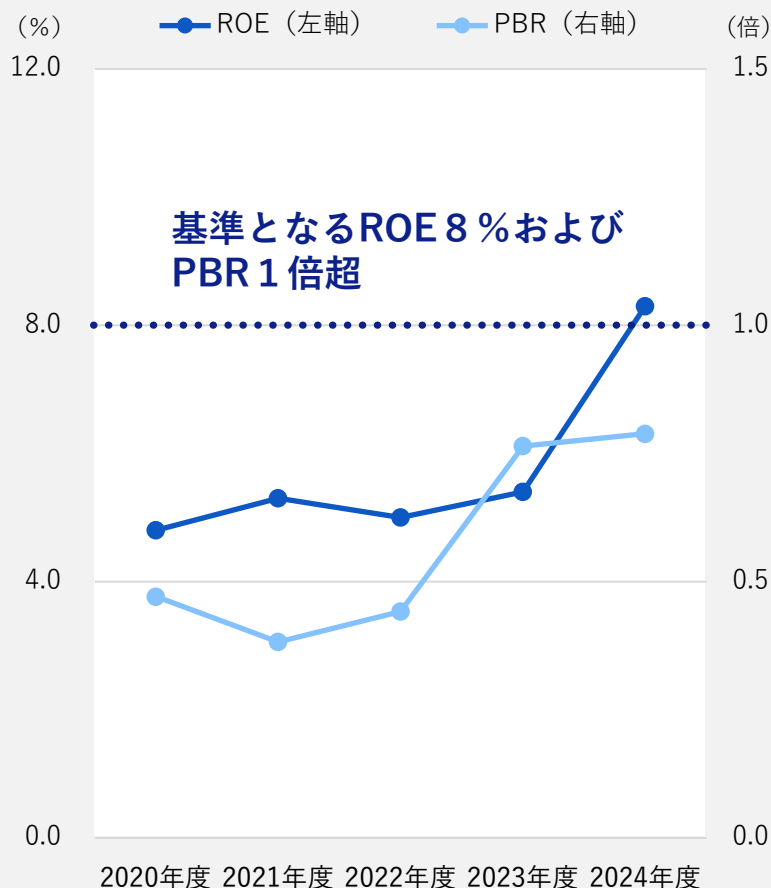
添付資料：「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」

資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応について

2025年4月28日

直近事業年度のPBRおよびROE

● ROEおよびPBRの推移



現状分析

I ROEは、大幅に改善

直近の事業年度（2024年度）のROEは、前年度（2023年度）に続き、株主資本コストを上回った

また、市場において最低水準とされるROE 8 %を上回った

- 資本収益性のさらなる向上を目指し、引き続き、収益性の向上と経営資源の適切な配分に取り組む

I PBRは、1 倍割れの状態が継続

PBRは、前年度（2023年度）実績からほぼ横ばい（微増）で推移した

PBRは1 倍まで達しておらず、引き続き、改善が必要な状態にある

- 収益性の向上に向けた取り組みを継続的に実施する
- 市場から適正な評価を得られるよう、IR活動を強化していく

対応の概要

- 現状分析を踏まえ、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応として以下の施策に取り組む
- 施策は、前回公表時から変更なし

1. 収益性の向上

- 2030ビジョンおよび中期経営計画（2024-2028）の遂行
- 事業ポートフォリオに基づく、既存事業のさらなる深化を前提とした、重点事業への取り組み加速

2. 経営資源の適切な配分

- キャピタル・アロケーション[※]に基づく、キャッシュの活用
- 積極的な成長投資と充実した株主還元の実行

3. IR・SR活動のさらなる充実

- 株主・投資家との対話の促進
- 情報開示のさらなる充実



資本効率
ROEの向上

UP ↗



市場評価
株価の向上

UP ↗

※キャピタルアロケーションは、2024年10月31日当社開示資料「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」において開示しております。

中期経営計画の進捗状況

- 中期経営計画（2024-2028）の数値目標の一部（営業利益、R O E）を達成したことから、数値目標の見直しを検討
- 引き続き、収益拡大に向けて既存事業のさらなる深化と成長分野への取り組みを加速

2028年度数値目標のうち、
「営業利益」「ROE」を達成

2024年度実績

売上高 **2,572**億円
営業利益 **161**億円
R O E **8.3**%

数値目標の見直しを検討

2028年度数値目標 指標

売上高 **2,700**億円
営業利益 **135**億円
R O E **6.0**%以上

2030年代前半数値目標 指標

売上高 **3,000**億円
営業利益 **200**億円
R O E **8.0**%

連結売上高
2,572億円

営業利益率
6.3%

連結売上高
2,700億円

営業利益率
5.0%

連結売上高
3,000億円

営業利益率
6.7%

2024年度

2024年度～2028年度

2030年代前半

現状
2024年実績

中期経営計画
2024～2028

2030ビジョン
～2030年代前半



ご 注 意 事 項

本資料における将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。